

# 三森循環器科呼吸器科病院が 担う役割について

令和5年11月7日  
三森循環器科呼吸器科病院

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】

### 基本理念

地域における『かかりつけ病院』  
(ホームホスピタル) を目指す

充実した体制により、1日も早い健康回復と  
社会復帰を願い、心温まる環境作りに励みます。

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】 基本方針

- ①職員、一人一人が医療従事者としての心構えを持ち、笑顔で患者さんに応対しましょう。
  - ・ 医療従事者としての意識・責任を持ち行動する
  - ・ 患者さんが安心して診療を受ける体制を整える
- ②研修等に参加し、医療レベルを向上させましょう。
  - ・ 各種の院内，院外の研修会に参加し、一人一人がレベルアップを目指す
- ③職員が働きやすい，働きたいと思える環境体制を整えましょう。
  - ・ 職員が個人の能力を最大に生かせる環境，スキルアップができる体制作りをします

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】 診療実績

- 届出入院基本料

58床 一般病棟

(地域一般入院基本料3 平均在院日数60日以内)

- 平均在院日数

45.5日※令和4年9月～令和5年8月

病棟区分	病棟機能
高度医療病棟	先端医療等医療密度の極めて高い医療の提供
急性期病棟	一般的な急性疾患、外科的処置を要する疾患患者の受け入れ 大規模病院が中心となるが、単科の専門病院でも設定しうる
地域一般病棟	軽症急性疾患の受け入れ 地域の在宅医療・介護保険施設のネットワーク 急性期病棟からの亜急性患者の受け入れ
回復期リハビリテーション病棟	リハビリテーションに特化した専門病棟
療養病棟	医療密度の高い長期療養患者の受け入れ

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】 現況

- 標榜診療科  
循環器科、呼吸器科、消化器科、内科、  
アレルギー科、リハビリテーション科、神経内科
- 医療機関指定  
救急指定病院  
生活保護指定医療機関  
難病指定医療機関  
労災保険指定医療機関  
被爆者一般疾病指定医療機関  
熊本県肝疾患専門医療機関  
熊本県肝炎治療指定医療機関

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】 現況 職員数 令和5年9月1日現在

職	種	常	勤	非	常	勤	合	計
医	師	2		15			17	
医療技術員	薬 剤 師	2		2			4	
	放 射 線 技 師	1		1			2	
	検 査 技 師	2					2	
	理 学 療 法 士	3					3	
	リハビリ助手			1			1	
	管 理 栄 養 士	1					1	
看護部門	看 護 師	25					25	
	准 看 護 師	7		2			9	
	看 護 補 助 者	10		3			13	
事	務	10					10	
合	計	63		24			87	

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】 自施設の特徴

### 自施設の担う政策医療（5疾病）

- ①がん：早期発見および疼痛緩和・継続治療
- ②脳卒中：亜急性期～慢性期のリハビリ  
再発予防
- ③急性心筋梗塞：循環器専門医：6名  
早期に診断し急性期は高度医療機関に紹介  
亜急性期～慢性期治療  
心大血管リハビリ施設基準Ⅱ（心リハ指導士）
- ④糖尿病：糖尿病専門医：2名  
多職種（栄養士・看護師・理学療法等）によるケア
- ⑤精神疾患：専門機関との連携

# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】 自施設の特徴

### 自施設の担う政策医療（5事業）

- ①救急医療：継続  
特に夜間や休日および非専門領域は  
対応困難なケースも多い
- ②災害時における医療：他医療機関・保健所等  
との連携
- ③へき地の医療
- ④周産期医療
- ⑤小児救急医療を含む小児医療

在宅医療に関する事項：見取りを含め訪問診療を継続



# 1 現状と課題

## 【自施設の現状と課題】 自施設の特徴

### その他

近年心不全の患者が増加してきています。特に高齢者の心不全は入退院を繰り返しながら、生活の質が低下していくため、予後は悪く、医療経済的にも大きな問題となっています。

また現在3大死因は、悪性腫瘍、心臓疾患、肺炎ですが、慢性閉塞性肺疾患（COPD）が増加しており将来第3位になると予想されています。

当院では、心不全、COPDなどの心疾患、呼吸器疾患には特に力を入れています。

## 2 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

#### 地域一般病棟の概念

##### 役割

- ①地域ケアを中軸としたトータル・ケアサービス
- ②在宅ケアを中心に、利用者の状態を考慮した医療の提供
- ③基軸は地域における医療機関・介護施設とのネットワーク

##### 機能

- ①リハビリテーション機能、ケアマネジメント機能が必須
- ②急性期病棟からの受け入れ
- ③在宅医療の後方支援機能
- ④24時間体制での対応

##### 入院対応疾患

- ①軽～中等度の肺炎、脳梗塞等、内科疾患特に心・呼吸器疾患
- ②一般的な骨折等、外科疾患
- ③慢性疾患の急性増悪

## 2 今後の方針

# 新興感染症への対応

(新型コロナウイルス感染症対応の教訓を踏まえた当院の基本方針)

1. 新興感染症発生時において、地域における当院の役割に従い、地域住民の皆さんに必要な医療の提供を行います。
2. 地域感染期において、当院の医療を継続的に提供するとともに、新興感染症以外の、入院治療を要する患者さんを積極的に受け入れます。
3. 軽症者、中等症の対応については、地域の医療機関や自治体との連携をはかり状況に応じた医療を行います。

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2022年(令和4年)	2025年(令和7年)	備考
高度急性期			
急性期	58	58	変更なし
回復期			
慢性期			
その他			
合計	58	58	

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【②診療科の見直し】

	現時点 (令和5年10月時点)	2025年	理由・方策
維持	循環器科、呼吸器科、消化器科、 内科、アレルギー科、リハビリ テーション科、神経内科	循環器科、呼吸器科、消化器科、 内科、アレルギー科、リハビリ テーション科、神経内科	
新設	なし	なし	
廃止	なし	なし	
変更・統合	なし	なし	

### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点( 令和5年8月時点)	2025年
①病床稼働率	79.1%	90%
②紹介率	計算未	
③逆紹介率	計算未	

# 3 具体的な計画

## (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

### 【取組みと課題】

#### 1、地域一般病棟としての役割・機能の充実

##### 役割

- ・ 地域ケアを中軸としたトータル・ケアサービス
- ・ 在宅ケアを中心に、利用者の状態を考慮した医療の提供
- ・ 基軸は地域における医療機関・介護施設とのネットワーク

##### 機能

- ・ リハビリテーション機能、ケアマネジメント機能が必須
- ・ 急性期病棟からの受け入れ
- ・ 在宅医療の後方支援機能
- ・ 24時間体制での対応

#### 2、医療従事者の確保

- ・ 人材確保（新規養成、復職支援、定着促進など）
- ・ 学習環境の整備院内勉強会や院外研究会への参加、eラーニング等の使用による学習
- ・ 福利厚生の充実
- ・ 職場環境の改善（業務を改善するシステム導入などの検討）

## 3 具体的な計画

### (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

#### 【取組みと課題】

#### 医師の働き方改革を踏まえた医療従事者の確保対策

(医師の働き方改革)

医師の労働時間が医療機関が労働基準監督署による宿日直許可を受けている場合は、その宿日直に携わる時間は規制の対象となる労働時間には含まれません。

- 現在宿日直許可申請中。
- 宿日直医師の確保が困難であり大学や中核病院との連携および多方面との連携を行います。
- 各種の広告媒体等を利用し、確保に努めています。
- 職員が働きやすい環境作り、スキルアップのためのバックアップ等を行い、当院で働き続けたいと思えるように努めています。